

A BRAND NEW CHAPTER @ KOCHI
TOSABUSHI

とさぶし



No
38



TAKE FREE

あなたの
暮らしに
高知の花を

Flowers Story



「お花、ありがとうございました」。後日訪れたご家族の言葉で、花束のプレゼンターが大成功だったことを知らされる濱田さん。贈り手の思いを形にするお手伝いは、もれなく幸せのお裾分け付き。次はお父さんかな? おばあちゃんかな? 女の子の来店が待ち遠しい。

商店街の一角にある昔ながらの花屋さん「金子生花店」。時折、「ここに一人で訪れては花束を買って帰る一人の女の子がいる」という。「お母さんにお花を贈りたい」と言う女の子に応えるのはスタッフの濱田達也さん。「どんな色にしたい? どんなお花を入れたい? どんなラッピングがいいかな?」、女の子に問い合わせながら、花を贈る相手にどんな気持ちになつてもらいたいか、時間をかけて一緒に考える。女の子から「高知のお花はどれ?」と聞いかけられることもあるれば、女の子が気になつた花を花束にすることもある。その日、女の子が持ち帰つた花束は、近隣の生産者が育てたビンク色のガーベラ。「希望」という花言葉を持つガーベラは子どもが大好きな花だ。

Story

特集

あなたの暮らしに 高知の花を

多彩で元気な花々が生産されている高知県。

高知の花はどんなふうに愛され親しまれているのか、

いろいろな人たちにインタビュー。

高知の花の魅力や暮らしに取り入れるヒントを贈ります。



物語の持ち主

金子生花店
はまだたつや
濱田 達也さん

高知県佐川町出身。大学卒業後、金子生花店に就職。店頭では、花を通じて、お客様の思いに寄り添って提案。また、学校などで花で子どもの心を育てる「花育」の活動にも取り組んでいる。

「お花を贈りたい」と言って、
花屋さんに訪れる一人の女の子と
花屋の店員の心和むストーリー。
花は私たちの
何気ない毎日を豊かにしてくれる。

高知の花で結婚式を演出

高知の花はその華やかなビジュアルから、県内外を問わず、披露宴のテーブルコーディネートや挙式の演出に大活躍。自分が生まれ育った地域の花を選ぶ新郎新婦も多い。近年では、高知県産のユリやグロリオサを使ったブーケのニーズも高まっている。



ウェルカムフラワーとして

高知龍馬空港などの公共施設や、県内のイベント会場で、県外客を出迎えるウェルカムフラワーとしても高知の花が活躍中。県民性を物語る明るく元気な高知の花は、高知県のPRにうってつけ！

生命力に溢れる高知の花が
思い出のワンシーンに
彩りをプラスする

高知を代表する花といえば、ユリ、
グロリオサ、ダリア、トルコギキョウ
など。明るさや力強さを兼ね備えた存
在感のある花が数多く存在する。「温
暖な高知県で育てられているお花は、
とても生命力があります。明るさや力
強さ、見る人を元気にするインパクト
がある。だから、使われ方としても、花

ハレの日を彩る 高知の花

結婚式や記念日など特別なシーンで
高知産の花が活躍しているのをご存知でしょうか？
明るく力強い高知の花の可能性は無限大！

1歳の誕生日を花で祝う

子どもの誕生日や祝い事といった人生の節目を、家族のイベントとして楽しむ家庭が多い。そんな折に高知の花を選ぶ家庭が増えている。たとえば、1歳の誕生日ギフトに高知の花を用いて写真に残すサービスも登場している。



母の日のカーネーション代わりに…

近年では、母の日ギフトとして、カーネーションの代わりに地元の花を贈るニーズが増えていく。高知の花は種類が豊富なため、母の日をはじめ、父の日やバレンタインなど、いろいろな年間イベントに幅広く対応できる。

Check!

ラブリーアンバサダーの活動



高知県で生産された花を盛り上げるために「ラブリーアンバサダー」として活躍中の橋田さん。「ラブ」と「リリー(ユリ)」と組み合わせた名称の通り、高知県を代表する生花であるユリを中心に、生産者や生花店が力を合わせて、情報発信や提案活動を実施。装飾はもちろん、ファッショントレンドなど、さらなる可能性を探っている。

tomoni flower

はしだともあき

橋田 智彰さん

を贈る相手に明るくなつてほしい、元気になつてほしい、という思いを込めことが多いですね」と生花店を営む橋田智彰さん。利用シーンも幅広く、結婚式などのハレの日から、記念日、イベント会場、よさこい祭りの踊り子の髪飾りまで多種多様。人生の特別な日に登場し、思い出のワンシーンに彩りをプラスしてくれる。「図らずも新型コロナウイルスの影響で、これまで県外に出荷されていた花が県内で使われるようになっています。地元での再発見も進んでいますよ」と橋田さん。近年では、育種や品質の向上もあって、ますますバリエーションを増やしているという高知の花。「誰かに花を贈りたい、そんな機会には高知育ちの花をぜひ手に取ってみてほしい。

世界も認める マイスターに聞く



知県が全国でも有数のユリの産地であることをご存知だろうか。県内では、テッポウユリやオリエンタルユリのカサブランカをはじめ、毎年200種類以上のユリが栽培されており、出荷量は全国2位。近年では世界的に需要の高い八重咲きのユリや、無花粉のユリなどの新しい品種の栽培も始まっている。そんなユリ王国高知を下支えしてきたのが、戦後期から続くユリ専門の球根会社「中村農園」だ。品種改良の最前線であるオランダなど、海外に出向いては球根を輸入。改良された品種はもちろん、まだ名前のない有望品種まで、年間500品種以上の実証試験を行なう。

い、日本の風土や流行にあつたユリを選別し、生産者のもとへ届けてきた。「ユリの品種改良は海外が最前线。今も昔も球根の世界では常にグローバルな取引が行われています。世界から日本の農家さんに、役に立つユリの球根をお届けしたい」。3代目を務める中村さんは使命感



高

知県が全国でも有数のユリの産地であることをご存知だろうか。県内では、テッポウユリやオリエンタルユリのカサブランカをはじめ、毎年200種類以上のユリが栽培されており、出荷量は全国2位。近年では世界的に需要の高い八重咲きのユリや、無花粉のユリなどの新しい品種の栽培も始まっている。そんなユリ王国高知を下支えしてきたのが、戦後期から続くユリ専門の球根会社「中村農園」だ。品種改良の最前線であるオランダなど、海外に出向いては球根を輸入。改良された品種はもちろん、まだ名前のない有望品種まで、年間500品種以上の実証試験を行なう。



株式会社中村農園
なかむら けいご
中村 慶吾さん

ユリ専門の球根会社として国内トップシェアを誇る「中村農園」の代表取締役。HPでの品種データ・試験データの公開や、様々なPR活動にも取り組むなどユリの魅力を広く伝えている。

高知の花の底力

日本全国で、そして世界で愛されている高知の花。
非常に高い評価を得て、その背景には、
花への情熱にあふれた生産者や流通業者の存在がある。



ゼロからはじまり

世界に認められたグロリオサ

世

界最大の花のコンテスト「インターナショナルフラワートレードショー」でグランプリを受賞するなど、今や世界が認める高知市三里地区のグロリオサ。その立役者でもある中島義幸さんは、「色、形、大きさ、茎の強さが全くの別物なので、海外の方は驚かれますね」と語る。中島さんは昭和55年に生姜の裏作としてグロリオサを栽培。初めての花きの栽培に苦戦しながらも、海外の論文を参考にした品質管理や、球根の選別などの独自の手法を次々と実践し、「サンクワインド」などの新品種を開発した。近年は海外への輸出も盛んになり、アメリカでの市場価格は日

中島農園
なかしま よしうき
中島 義幸さん

昭和55年からグロリオサの栽培を開始し、以降、長年にわたり三里地区のグロリオサのブランド化や海外輸出の先駆者としても活躍。



本の数倍にもなるという。また、今はオランダの国際園芸博覧会「フロリアード」の開催年でもあり、「白からピンクへと変化する世界初のグロリオサ。ブライダル業界からの評価なども楽しみです」と意気込みを語ってくれた。

昭和32年の創業以来、
高知県の生花流通と卸売
を支えてきた、土佐花き
園芸市場。県内の花屋等
が参加する「競り」では、
多い日には20万本を超え
る取引がある。その市場に
19歳から65歳まで勤めて
きた岡林保宏さんは、昭
和から令和まで花の移り
変わりをずっと見守って
きた。まだ街に花が少な
かつた時代から、やがてハ
ウス栽培が始まり……年
を追うごとに新しい品種
が登場しては、経済成長の
勢いに押されて飛ぶよう
に花が売れた時代まで。長
い年月、行き交う花を目
にして今なお思うのは「感
謝を自然に伝えられる花

の良さ」。何気ない瞬間に
「これ、飾つちょきや」と
贈つて、感謝を伝える。「言
葉にできない思いを伝え
るコミュニケーションツー
ルとして、何気ない日常の
中で気軽に花を使つても
らえたら」と岡林さん。特
別な日のギフトはもちろ
ん、日常生活にも。

花で感謝を伝える
心から花に感謝し、
花で感謝を伝える

花の流通拠点で50年余り…

(株)土佐花き園芸市場 専務取締役
おかばやし やすひろ
岡林 保宏さん

昭和31年、高知市生まれ。現在は営業職から退き、市場の外交役はもちろん、高知の花を盛り上げる役割を買って出ている。

で花開く



寄り添い生きる人たちがいる。その人たちが伝え
使いのワンポイントアドバイスとともにご紹介。

結婚式や高知県のイベ
ントの会場、ホテルや料
亭のエントランスなどを
あでやかに演出する高知
の花。「よく耳にするグロ
リオサは2021年に開
催された東京オリンピッ
クの聖火リレーの際に、
高知中央公園の舞台を
華やかに盛り上げていま
した」と話すのは「ジュ
ジュ・ミツコ」の山口京太
さん。華やかな印象の通
り、高知の花は「ハレの日」
のさまざまなシーンで活
躍を見せる。店頭販売に
おいては、「プレゼント」とし
ての需要が多くたが、こ
こ数年で日常使いも増
加。「グリオサ、ラナン
キュラス、ユリなど、高知

県らしい花には豪華で特
別な印象を持つ人が多い
かもしませんが、花器
との組み合わせ方を工夫
するだけで部屋にマッチ
した生け方ができます」
と山口さん。お家時間が
多くなった昨今、流儀に
とらわれないアレンジを
日常で楽しむのもいい。

オリンピックの聖火リレーから
日常使いまで
高知の花が活躍中！

ジュジュ・ミツコ
やまぐち けいた
山口 京太さん

京太さんの祖母が営んでいた洋服店を母の京子さんが花屋にし40年、今や高知県を代表する名店に。一般販売からブライダルやお祝いの花を手掛けている。



ワンポイント

気軽に
花を贈ろう！

「貰って嬉しいことはないき
ね」大切な人に、お世話になっ
ている人に、お花をもつと身近
に、気軽に贈ってみよう。きっと
たくさんの笑顔が生まれるはず。



ワンポイント

アレンジ一つで
イメージも変わる

老舗料亭・得月楼のエント
ランスを装飾した一枚。鞠の
ように丸丸アレンジして
可愛らしさを引き出すとまた
違った良いに生まれ変わる。

高知県ではユリ、トルコギキョウ、グロリオサなどさまざまな花が栽培されているが、その多くは結婚式などの特別なシーンで使用される通称「業務花」と呼ばれる花材だ。しかし新型コロナワイルスの蔓延によって業務花の需要は減少しており、南国市にある農業技術センターでは新たな層に向けた新品种の研究も進んでいる。なかでも、国が開発した従来の品種よりも持ちするダリアやルコギキョウの品種審査会、また種苗会社の新品种の試験ハウスには、県内の園芸農家の方が頻繁に視察に訪れている。花

き担当の平石さんも「これまで高知のメジャーな花は意外と一般の方にはなじみがなかった。これらはもつと気軽に家庭などで高知の花を楽しめるようになつてほしい」と、今後の展開に大きな期待を寄せている。

り、南国市にある農業技術センターでは新たな層に向けた新品种の研究も進んでいる。なかでも、国が開発した従来の品種よりも持ちするダリアやルコギキョウの品種審査会、また種苗会社の新品种の試験ハウスには、県内の園芸農家の方が頻繁に視察に訪れている。花

ワンポイント お祝いやギフトで主役を務める花



鮮やかでボリュームがある高知の花は、ブーケにされても主役になる。「優雅」や「華麗」といっためでたい花言葉が多いのも特徴。

多様なシーン

なりわいとして趣味として、誰よりも花を愛し、花にたい高知の花の魅力、そして可能性とは？　日常

全国各地から高校生が集まり花いけの腕を競い合う「高校生花いけバトル」という全国大会があるのをご存知だろうか。花いけに青春をかける高校生にとっては野球でいう甲子園のようなもの。高知県からは岡豊高校に通う2人の女子高生コンビが四国を代表して全国大会に参加を果たした。「華道を始めたことで、花屋に足を運ぶことも増えて高知の花にも詳しくなりました」。そんな2人が作品のアクセントに選んだのは、高知の名花グロリオサとトルコギキョウ。色彩が際立ち、華やかなビジュアルが作品の顔になると2人は考え

た。そして堂々の全国4位に入賞。「全国大会で高知の花を使うことが、少しでも高知の花のPRになれば…」そんな思いも込めた今回の全国大会。全国はもとより「クラスメイトが高知の花を知るきっかけ作りになつていて」と嬉しそうに話してくれた。

ワンポイント 新しい門出に高知の花を！



自らの卒業式で、壇上に飾られる花も手掛けた。元気で、大きくて、華やかな高知の花はエールをくれる。

家庭で楽しむ時代へ 新たな需要に向け 高知の花々は

高知県農業技術センター作物園芸課花き担当チーフ

ひらいし まき
平石 真紀さん

花き担当チーフの普及指導員、研究員として勤務。現在は農業技術センターで、主にグロリオサの育種など、花きの研究に従事。

生け花に青春をかけて… 「高校生花いけバトル」に挑む 高知の名花で

高知県立岡豊高等学校 華道部
おかむら うた とくひろ りな
岡村 詩さん 徳弘 吏南さん

母親が生花売り場に勤めている徳弘さんが、岡村さんを華道部に誘うと、2人はすぐさま花いけの名コンビに。息があつた表現は大人顔負け。

高知 名花

で花咲く

全国でもトップクラスの品質を誇る高知の花々。
その中から主要7品目をご紹介。
見惚れるような美しさは生産者の努力のたまもの。



田村農園
たむら よしとし
田村 善稔さん

年間を通してさまざまな品種のダリア
が開花する「田村農園」の代表。クレ
マチスやブライダルルージュ、ユーカ
リなども栽培している。

花色・形・大きさが多彩で華麗な花

ダリア

開花 10月下旬～6月中旬 ※ハウス栽培の場合

地域 芸西村、須崎市、黒潮町など

花言葉 「華麗」 用途 祝い事・ブーケ・イベント
花持ちのコツ 大きな葉は取り除き、こまめに茎を切り戻して、
水替えをすると日持ちが良くなる。



花の形が牡丹に似ていることから
「天竺牡丹」の和名をもつメキシコ原
産の花、ダリア。花径5cmほどの小輪
から30cmもの大輪まで、多彩な品種
が存在し、オーソドックスなフォーマル
デコラティブ咲きをはじめ、玉房状に
なった愛らしいボール咲き、細長い花
弁がトゲのように見えるカクタス咲き
と、花の咲き方、花色もさまざま。「フ
ラワーアレンジメントの主役にも選ばれ
るダリアは、一輪挿しても十分な存在
感を放つので、手軽に素敵な空間を
演出できます」と生産者の田村さん。
「田村農園」では、育てているダリアの
80%を苗づくりから行い、約40品種
を栽培している。



山中農園

やまなか の りお

山中 教夫さん

「山中農園」の2代目。嶺北地域の花き農家で構成されたグループ「とされいほく Confidence Flower」の代表としても活躍中。

香り高くエレガントな大輪の花

オリエンタルリリー

日本を原産とするヤマユリやカノコユリなどを交配し、オランダで育種された品種。数あるユリの中でもボリューム感のある大きな花と上品な香りが特徴で、高知県の代表的な品種である白いカサブランカをはじめ、ピンク系のバンドームやソルボンヌなど、200品種以上が栽培されている。「他の花との相性も良いですが、存在感のある花なので単体でも楽しめます。1本につき数個の蕾(つぼみ)が順に開花していくため、長く楽しめるのも魅力」と山中さん。標高900mのハウスで土壌作りや温度管理を徹底して育てる山中農園のオリエンタルリリーは、1番上の蕾までキレイに花を咲かせる。

開花 中山間部 7月～10月
平野部 11月～6月

地域 安芸市、高知市、
土佐市、大川村など

花言葉 「気高さ」

用途 祝い事・贈り物

花持ちのコツ しおれた花は早めに取り除き、
水替えをすれば最後の
蕾まで楽しめる。



ふんわりドレスのような可憐な花

トルコギキョウ

蕾の形がトルコ人のターバンに似ていることからその名が付けられたといわれる、アメリカ大陸原産のトルコギキョウ。花弁が幾重にも重なった華やかな八重咲きや、ふんわり愛らしい一重咲きなどがあり、花色も白やピンク、グリーンやイエローなどバリエーションも豊富。「山に自生する茅に牛糞や米ぬかなどを混ぜた手作りの堆肥を作っている」という高橋さんの農園では、セレブリッヂホワイトやシュリアスラベンダーなど10種以上の品質の良いトルコギキョウが育つ。「家に飾る日常使いから冠婚葬祭まで幅広いシーンにおすすめです」と教えてくれた。

開花 中山間部 7月～10月
平野部 11月～5月

地域 茅ヶ崎市、安芸市、
香南市、土佐町など

花言葉 「優美」

用途 祝い事・ブーケ・ギフト

花持ちのコツ 少しおれ気味の時は、
茎を切り戻して水替えすると、
また元気になる。



とされいほく Confidence Flower

たかはしさだあき

高橋 定章さん

嶺北地域に花き園芸を広め、「とされいほく Confidence Flower」を発足。
園芸歴30年以上の知識と経験を持つ。



芯の強さが美しい佇まいを演出する

テッポウユリ

ユリの出荷量は全国2位の高知県。中でもテッポウユリは、栽培の歴史も長く、お祝い事からお悔やみまで、さまざまなシーンで使われてきた。高知県のユリは香り高く、光沢があり、また花持ちも良いことで知られ、茎を手にした時に、スッと姿勢を変えない、芯の強さがある。

開花	通年
地 域	土佐市、高知市、黒潮町、須崎市、四万十町など
花言葉	「純潔」「高貴」「無垢」
用 途	お祝い事、お悔やみ
花持ちのコツ	しおれた花は早めに取り除き、水替えをすれば最後の蕾まで楽しめる。

高知県嶺北地域でのみ栽培

ノーブルリリー



もともとはピンクのアジアティック系ユリが、突然変異を起こし誕生した花。高知県嶺北地域オリジナルの品種として、地元生産者が大切に育てている。独特な八重の花型には威厳を感じられる。淡いグリーンの色合いは、どんな花ともブーケとして合わせやすい。

開花	10月下旬～6月中旬
地 域	本山村、土佐町など
花言葉	「純潔」「無垢」「威厳」
用 途	祝い事、ブーケ
花持ちのコツ	水替えなどのお手入れだけで、日持ちが良く長く楽しめる。



花嫁の幸せを願う青い花

オキシペタラム (ブルースター)

高知県内で栽培が盛んなオキシペタラムは、全国シェアの9割を占める。芸西村名産のピュアブルーなど青い品種はもちろん、白やピンク、八重品種など、さまざまな色合いがある。西洋では「花嫁が結婚式で青いものを身につけると永遠の幸せを呼ぶ」とされ、ブライダルシーンでも人気がある。

開花	通年
地 域	芸西村、中土佐町、須崎市など
花言葉	「信じ合う心」
用 途	ブライダル、ブーケ、自宅観賞など 切り口から出る白い液をきれいに拭き取るか、塩水で洗うと、水の吸いあげが良くなる。



鮮やかな赤が勝利を称えてくれる

グロリオサ

熱帯地域原産のグロリオサは、鮮やかな赤や黄色に、燃え上がるような大輪の花びらが特徴的な花。年間を通じて温暖な気候に恵まれる高知県は、全国生産のおよそ7割を占め、まさに高知を代表する品目として、ハレの日の演出や、観光客のおもてなし役を務めている。

開花	通年
地 域	高知市、黒潮町、須崎市など
花言葉	「栄光」
用 途	イベント、入学・卒業式、お祝い水で薄めた鮮度保持剤に少し糖分を加えてあげると、花色が鮮やかに。
花持ちのコツ	

高知に輝く 育種のあしあと

花き園芸の現場では、時代のニーズに合わせた新たな品種改良、すなわち「育種」が積極的に行われている。今や花き園芸の最前線とも言われる高知県だが、その発展の背景には、地域の気候にあった品種やブランド性の高いオリジナル品種など、生産性と商品価値を意識した長い育種の道のりがあった。高知県の農業技術センターが育種を始めたのは、今からおよそ30年前。もともと山野草として愛でられていたヒメユリを、切り花用の品種として改良し、「スタービューティー」として商品化したことが始まり。だが、民間の生産者による育種の歴史はそれ以前から行われていた。より高品質な品種を作るため、選抜した種や球根を親株として、さらに交配や選抜を重ねていく育種の取り組みは、長いものでは10年以上の歳月を要することもある。それだけに育種家が蓄積した経験と知識、品目を有利に利用するセンスが成功を大きく左右する。例えば、生産者の長きにわたる研究と努力によって生まれた三里地区の「サザンウインド」や、芸西村のオキシペタラム「ピュアブルー」などは、その成功した典型例だろう。育種によって新たに誕生した花の一部は、農業技術センターで試験栽培が行われる。そこで、気候の適応性や確実性の高い栽培方法が検討され、生産者に情報が提供されることで、経験の少ない新規就農者でも生産できるようになる仕組みができている。積み重ねられた育種の足跡は共有され、次世代の生産者が継いでゆくのだ。

旬と地域と人 土佐作

よたみ
じ。シ
たらしや



今回のレシピ

【あたらしや】

白いお餅の上に、祝い事には赤・黄・緑、不祝儀の際には黄・緑の飾り付けをする愛らしい餅菓子。高知市春野町では、皿鉢料理に欠かせない郷土菓子として親しまれてきた。

場所 高知市春野町

旬 正月をはじめとする宴席
高知県内でも高知市春野町に伝わる

皿鉢料理を彩る
春野町の郷土菓子
素朴な味が郷愁を誘う…

江戸時代初期、野中兼山が仁淀川に堰や用水路を築いたことで、稻作が盛んに行われるようになつた高知市春野町。「あたらしや」は、そんな地域の米を生かして作られるようになった郷土菓子で、皿鉢料理には欠かせない一品として親しまれてきた。早く食べないと餅が固くなってしまうため、皿鉢料理では最後に作つて盛り付けていたことで、いつしか「あたらしや」と呼ばれるように。「昔はだんご粉の原料となる上新粉やもち粉を自分で配合して、各家庭によつて木型で餅に模様を付けたり、その家ごとの『あたらしや』を作つていたのです」と地元の奥様方。昔のように、個々に飾り付けを楽しんで、素朴で愛らしい「あたらしや」を作つてみよう。

▶用意するもの(2人前)

小豆 100g
砂糖 100g
塩 少々
だんご粉 270g
水(だんご用) 230~240cc
食用色素(赤、黄、緑) 各少々



1 鍋にたっぷりの水を入れて小豆を茹で、沸騰したらザルにあげてゆでこぼしする。再び鍋で小豆を茹でた後、保温鍋に入れて一晩おく。翌朝、指でつまんでつぶれるほどの柔らかさになればOK。少し硬い場合は追い煮きする。

2 鍋の小豆を布巾でこした後、再び鍋に入れ砂糖と塩を加えて30分ほど煮る。炊き上がったあんこを親指ほどの大きさの俵形にする。

3 だんご粉に水を加えて耳たぶほどの固さになるまでこねたら、小分けにして15分ほど蒸し、熱いうちにボウルに入れて練りあげる。

4 餅をピンポン玉ほどの大きさに分けて伸ばしたら、木型や凹凸のある器などに押し付けて模様を付け、あんこを乗せて包む。

5 少量の餅に赤、黄、緑の食用色素で色をつけ、米粒ほどの大きさに丸め、トッピングしたら完成。不祝儀の場合は黄と緑のみ。

おからレシピ

ひとくちメモ

あたらしや

昔はうるち米を加工した上新粉や、もち米を加工したもち粉を配合してだんご粉を作っていた。本格的な「あたらしや」を作りたい方は、だんご粉作りからチャレンジしよう。また、餅に模様を付ける際は、器を濡らしておくと餅が剥がれやすくなる。色々な器を使って、様々な模様の「あたらしや」を作ってみて!

まだまだある!

【とら巻】

「あたらしや」と同じく春野町の郷土菓子。作り方は、ザラ紙を敷いた鉄板でカステラ生地を焼いて虎柄の焼き目をつけたら、あんこを乗せてロールケーキのように巻くだけ。

【いもべらあづき】

いの町に伝わる郷土料理。長時間茹でたサツマイモを細長くカットして干したものを、いの町では「ゆでべら」や「煮べら」と呼ぶ。その「ゆでべら」と小豆を砂糖で甘く煮た料理。

【レシピ案内人】とら巻&あたらしやの会

高知市春野町在住の女性メンバーで構成されたグループ。高知県が選定する「土佐の料理伝承人」として、「あたらしや」や「とら巻」をはじめとする土佐の郷土料理を、地域の施設やイベントなどで作って広めている。



土佐の技

土佐に息づくさまざまな職人技。
伝統の傍らに、
常に新しい展開があることも、
土佐らしい特徴の一つだ。
今回は、土佐の花雑貨をテーマに
いざ、温故知新！



「ギャラリー&工房 やまももの夢」をオープンし、作品の展示や販売をはじめ、定期的にワークショップも開催している。

グロリオサをはじめとする高知の花々と、いの町の土佐和紙を掛け合わせ、独自の乾燥法で自然の美しさを表現した押し花アート。「押し花」でしか表現できない、自然の奥深さを楽しんではほしい」と作品に思いを込めるのは「やまももの夢」の代表・片岡ゆかりさん。押し花アートの展示会にて押し花で表現する色や形の美しさに心を奪われ

高知で生まれる花の美しさを押し花に込めて

てから29年間、押し花作りに没頭。押し花をはじめ、ネイチャープリント、レカンフラー、山の幸染など、四季折々の素材を生かした、唯一無二の作品を数多く手掛けている。花の持つ魅力を身をもって感じてきた片岡さん。「押し花を通じて、人とのつながりを広げていきたい」と、未来につなげるための普及活動にも余念がない。



ギャラリー&工房 やまももの夢 代表
かたおか
片岡ゆかりさん
世代を問わず押し花を楽しんでもらいたいと、牧野植物園をはじめ、押し花を使った土産作りやワークショップなどを幅広く手掛けている。

実際に
リース作りを
体験してみた！



土佐の技を体験
ワカモノ副音声
体験者：つかはら夫婦
YouTube
「つかはら夫婦」で検索！

リースになっていく過程も楽しみ！」と、つかはら夫婦。「f f . m e — l o w」では、リースのほか、スワッグやブーケ作りなどのワークショップも体験できる。

のあるリースにするため、さまざまな種類の花材をテンポ良く取り入れてアクセントをつける。「リース全体が一つの流れになるように考えながら、花材の配置を決めることが大切」と指導を受けながら、作業を続けること2時間。「完成したリースからは草花の爽やかな香りが漂っていて、これから少しづつドライリースになっていく過程も樂

り、ユーカリやミモザなどの花材を小さなブーケのように束ねながら留めていく。動き

草花を使つたりース作り。まずは、リースの土台作りから。土台にワイヤーを巻きつけた

温故知新

今回の
テーマ

花雜貨

日々の暮らしに癒しを演出するフラワー作家

高知県出身のフラワー作家であるff.mellowの奥田二美さんが手掛けるのは、ドライフラワーを中心としたリースやブーケ、コサージュといった色彩豊かなフラワー・アレンジメント。「おうち空間で花や思い出を長く楽しんでもらえたら…」と、花の美しさに加えて、時間の経過とともに変化していく、色の移ろいや香りを感じられるように、ひと工

夫。一度作った作品は、ドライフラワーにすることでも長い年月、生活空間に彩りや癒しを与えてくれる。作品作りのきっかけは、小学生の娘が木曜市で買ってきてくれた一輪の花。娘からもらったはじめてのプレゼントを、思い出とともにカタチにして残したいと、手掛けたドライフラワー作り。そこで、心を癒された体験が、今の作品作りの原点となっている。



インスタグラムより作品販売やワークショップを受け付けており、祝い事など相手の要望に沿ったアレンジメントを制作している。



ff.mellow

おくだ ふみ
奥田二美さん

12年間勤めた保育士を退職後、フラワー作家として4年目を迎える。ワークショップやオーダー制作、販売を行う傍ら、イベントへの出店も行う。



ふわふわと可憐なミモザが広がる、彩り鮮やかな春のナチュラルリースが完成。体験時の思い出とともに飾ることができる。



選んだ花材をワイヤーで巻きつけて固定。しっかりと留めないと形が崩れてしまうため、想像以上に指先の力が必要。



自分の作りたいリースのイメージに合わせ、奥田さんからアドバイスをもらいながら、花材を選定する。



直径15cmほどのリースの土台。ここへ丁寧にワイヤーを巻き付けながら、リースを作っていく。

自然博物 ミステリーハンター

今回の調査は

香南市「大蛇藤」に行く!



「大蛇がすむ」という伝説に、
奥深い秘境へと誘われる香南市舞川地区。
その化身とされる藤の花は、まさに圧巻の姿だ。



ハンターくん

高知県の不思議な自然博物を探検! 相棒はカワウソのオッター。



花の見頃は、例年4月下旬から。ゴールデンウィークに満開になるとされる。今年は花の多い表年と予想されているので、大蛇探しに出かけてみでは?

協力:一般社団法人 香南市観光協会

不思議を案内してくれるのは…



香南市 舞川公民館 館長

こまつ みつひろ

小松 光広さん

高知県出身。6歳の時に、祖父と祖母が住む香我美町(当時)舞川地区に移る。昭和54年、舞川公民館の館長に就任。84歳になった今でも現役で活躍中。





地域に生きる

自然フシキ発見

天神の大杉

●てんじんのおおすぎ



香我美町の陸上自衛隊高知駐屯地の近くにある天満宮。こちらの境内には樹齢約850年、樹高55m、幹囲9.8mにもなる大きな杉の木が立っていて地元のパワースポットとして崇められている。過去に2回火事に見舞われたこともあったが、今でも元気な姿でいるのは、きっと天神様に守られているからと思えてならない。

辺り一面が緑色の苔で覆われ、その中に静かに佇む杉はアニメのワンシーンを彷彿とさせる神秘的な雰囲気を放っている。今では香南市のサイクリングコースの立ち寄りスポットとしても人気。



大蛇がすむという伝説を持つ舞川の滝つぼの様子。



藤の近くには「鬼の家」と呼ばれるかつての商店の跡があり目印にもなっている。



大蛇藤以外にも山藤がたくさん生えていてアーチのようになっているところも。

そんな舞川の滝つぼの奥には、大蛇がすんでいるという伝説が言い伝えられてきた。过去には、何人も人が潜って確かめようとしたものの、誰もその姿を見たことはないという。その伝説の謎を解明すべくハンターくんは現地を訪れた。

伝説の残る舞川のほとりには幹回りが1mにもなる大きな藤の木が生えており、あたりに群生する高さ15mの杉の木に蛇のようにグルグルと巻きつきながら伸びている。その樹齢300年以上。そ

れ。そこには、大蛇がすんでいた所。

同じような高さの杉の木があるので、開花時期にならないと見つけにくいですが、花が咲くと遠くからでもわかる存在感が出て圧倒されるんです」と誇らしげに話す。

木のすぐ近くの橋まで歩いてきたハンターくんは、芳しい香りを感じながら咲く高貴な花の美しさと、大蛇のように絡みついて杉をぎゅっと締め付ける藤の説を断念。舞川を守る大蛇の化身のようなその存在感に、すっかり圧倒されてしまった。

滝壺には大きな藤に姿を変え人々を魅了

今回のミステリーは「大蛇藤」の異名をもつ、香南市香我美町の山深い場所、舞川地区にある藤の木。香我美町の最北に位置し、進んで行くほどに道が険しく、電波も届かなくなる。それがかえって秘境好きの心をつかみ、ひそかな人気スポットとして知られる場所。

大蛇藤の花の特徴は、一つ一つの鱗のようにも見えるでしょう。房がとても大きいこと。周りにも

少期から舞川地区に住み続け、84歳の今でも現役で活躍する小松さん。「藤の花の房が集まつて大蛇

の様子から「大蛇藤」と呼ばれるようになります。案内してくれたのは、幼



GUEST

和紙アーティスト

たけ やま み き

竹山美紀さん

東京都墨田区出身。東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業。在学時から和紙アーティストとして活動をはじめ、令和2年に高知県越知町に移住。現在は、和紙雑貨を販売する「WASHI ORIORI」を運営し、ワークショップなども開催している。

プライム ト ブラック

次世代を担う
若者たち

高知の風土に育まれた「土佐人」たちは
今日もそれぞれの分野から「土佐の風」を発信
そこに新たな文化を重ねながら…



人を夢中にさせる和紙
その魅力に引き込まれ
和紙の探究に

日本三大和紙の一つに数えられる土佐和紙。その柔らかくて優しい風合いに引き込まれるかのように作品を作りはじめ、何かに導かれるようにして、高知に移住を果たした作家がいる。和紙アーティストの竹山美紀さんだ。

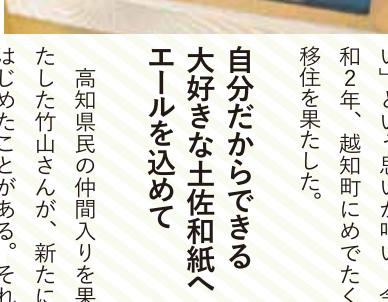
幼い頃から絵を描くことが好きで、夏休みの工作に和紙のちぎり絵を選んだことが、和紙との最初の出会い。彼女は、いつも忙しそうにしている母親が、自分以上に和紙のちぎり絵を楽しんでいた幼い頃の記憶。「和紙には人を夢中にさせる力がある」と、子どもながらに嬉しく感じていたという。やがて、芸術大学の油絵科に通うようになった彼女は、自らの作品作りに和紙を取り入れようと思いついた。そして、久しぶりに触れた和紙の優しい質感に引き込まれるように、和紙アートに没頭。「もう一個作ってみよう、もう一個作ってみよう」と、作品制作を重ねるうちに、その興味は、いつしか和紙そのものの探究へと向かうようになつていった。

土佐和紙に導かれた、数々の出会い 作品を作り、魅力を伝えていく

**土佐和紙が導いた
たくさんの出会い
やがて高知に移住**

それから日本各地の和紙職人を訪ね、和紙作りの研修を重ねるようになった竹山さんは、和紙作りの奥深さにのめり込んでいく。紙すきの技術はもちろん、きれいな水や天然の素材を必要とする和紙は、まさに「人間と自然が一体になつて作られるものだ」と学び、大きな感動

下写真は、竹山さんが制作した雑貨「WASHI pompon」。「土佐典具帖紙」を素材としており、織維の独特な質感が、ふわふわと可愛らしいルックスに活かされている。



**自分だからできる
大好きな土佐和紙へ
エールを込めて**

高知県民の仲間入りを果たした竹山さんが、新たにはじめたことがある。それ



は、土佐和紙を素材にした雑貨作りだ。「土佐和紙の素晴らしさや、土佐和紙の職人の技が与えてくれる感動を、もっと若い人に知つてもらいたい」と、土佐和紙を使ったアクセサリーのワークショップ企画。思いを実現させるため、地元で借りられるチャレンジショップを利用して、土佐和紙の雑貨販売や、ワークショップが開催できるお店をは



すよ」と嬉しく話してくられた。日本各地の産地と同様に、生産者が減り続けてい

命の出会いを果たすことになる。竹山さんが高知で目にしたのは、貴重な技術を惜しげもなく教えてくれる職人の姿や、高知で生きる人たちの大らかな人柄。「高知の人は本当に温かくて。他の職人さんを紹介してくれたり、滞在場所や、作品発表の場まで紹介してくれたりしたんです。土佐和紙が、たくさんの出会いを生んでくれました」。高知の人たちに惹かれた彼女は、芸術大学を卒業した後も高知に長期滞在しながら、個展に向けた創作活動を続けていた。そんな中で出会ったのが、和紙作家でもある現在のご主人。「いつか一緒に暮らしたい」という思いが叶い、令和2年、越知町にめでたく移住を果たした。

は、土佐和紙を素材にした雑貨作りだ。「土佐和紙の素晴らしさや、土佐和紙の職人の技が与えてくれる感動を、もっと若い人に知つてもらいたい」と、土佐和紙を使ったアクセサリーのワークショップ企画。思いを実現させるため、地元で借りられるチャレンジショップを利用して、土佐和紙の雑貨販売や、ワークショップが開催できるお店をは

すよ」と嬉しく話してくられた。日本各地の産地と同様に、生産者が減り続けてい

命の出会いを果たすことになる。竹山さんが高知で目にしたのは、貴重な技術を惜しげもなく教えてくれる職人の姿や、高知で生きる人たちの大らかな人柄。「高知の人は本当に温かくて。他の職人さんを紹介してくれたり、滞在場所や、作品発表の場まで紹介してくれたりしたんです。土佐和紙が、たくさん

の出会いを生んでくれました」。高知の人たちに惹かれた彼女は、芸術大学を卒業した後も高知に長期滞在しながら、個展に向けた創作活動を続けていた。そんな中で出会ったのが、和紙作家でもある現在のご主人。

は、土佐和紙を素材にした雑貨作りだ。「土佐和紙の素晴らしさや、土佐和紙の職人の技が与えてくれる感動を、もっと若い人に知つてもらいたい」と、土佐和紙を使ったアクセサリーのワークショップ企画。思いを実現させるため、地元で借りられるチャレンジショップを利用して、土佐和紙の雑貨販売や、ワークショップが開催できるお店をは

すよ」と嬉しく話してくられた。日本各地の産地と同様に、生産者が減り続けてい

命の出会いを果たすことになる。竹山さんが高知で目にしたのは、貴重な技術を惜しげもなく教えてくれる職人の姿や、高知で生きる人たちの大らかな人柄。「高知の人は本当に温かくて。他の職人さんを紹介してくれたり、滞在場所や、作品発表の場まで紹介してくれたりしたんです。土佐和紙が、たくさん

の出会いを生んでくれました」。高知の人たちに惹かれた彼女は、芸術大学を卒業した後も高知に長期滞在しながら、個展に向けた創作活動を続けていた。そんな中で出会ったのが、和紙作家でもある現在のご主人。

は、土佐和紙を素材にした雑貨作りだ。「土佐和紙の素晴らしさや、土佐和紙の職人の技が与えてくれる感動を、もっと若い人に知つてもらいたい」と、土佐和紙を使ったアクセサリーのワークショップ企画。思いを実現させるため、地元で借りられるチャレンジショップを利用して、土佐和紙の雑貨販売や、ワークショップが開催できるお店をは

すよ」と嬉しく話してくられた。日本各地の産地と同様に、生産者が減り続けてい

命の出会いを果たすことになる。竹山さんが高知で目にしたのは、貴重な技術を惜しげもなく教えてくれる職人の姿や、高知で生きる人たちの大らかな人柄。「高知の人は本当に温かくて。他の職人さんを紹介してくれたり、滞在場所や、作品発表の場まで紹介してくれたりしたんです。土佐和紙が、たくさん

の出会いを生んでくれました」。高知の人たちに惹かれた彼女は、芸術大学を卒業した後も高知に長期滞在しながら、個展に向けた創作活動を続けていた。そんな中で出会ったのが、和紙作家でもある現在のご主人。

は、土佐和紙を素材にした雑貨作りだ。「土佐和紙の素晴らしさや、土佐和紙の職人の技が与えてくれる感動を、もっと若い人に知つてもらいたい」と、土佐和紙を使ったアクセサリーのワークショップ企画。思いを実現させるため、地元で借りられるチャレンジショップを利用して、土佐和紙の雑貨販売や、ワークショップが開催できるお店をは

すよ」と嬉しく話してくられた。日本各地の産地と同様に、生産者が減り続けてい

命の出会いを果たすことになる。竹山さんが高知で目にしたのは、貴重な技術を惜しげもなく教えてくれる職人の姿や、高知で生きる人たちの大らかな人柄。「高知の人は本当に温かくて。他の職人さんを紹介してくれたり、滞在場所や、作品発表の場まで紹介してくれたりしたんです。土佐和紙が、たくさん

の出会いを生んでくれました」。高知の人たちに惹かれた彼女は、芸術大学を卒業した後も高知に長期滞在しながら、個展に向けた創作活動を続けていた。そんな中で出会ったのが、和紙作家でもある現在のご主人。

は、土佐和紙を素材にした雑貨作りだ。「土佐和紙の素晴らしさや、土佐和紙の職人の技が与えてくれる感動を、もっと若い人に知つてもらいたい」と、土佐和紙を使ったアクセサリーのワークショップ企画。思いを実現させるため、地元で借りられるチャレンジショップを利用して、土佐和紙の雑貨販売や、ワークショップが開催できるお店をは

すよ」と嬉しく話してくられた。日本各地の産地と同様に、生産者が減り続けてい



エフエム高知で毎週金曜日に放送中の「プライムトーク」に出演した時の竹山さん。竹山さんの出演回は、4月1日、8日の2週にわたってオンエア。

伝え継がれる
土佐ものがたり

昔々にあつとさ♪

「お雪椿」

いまから三百年ぐらい前の話だが、影野村（いまの窪川町※）に西本寺というお寺があつたそうな。お寺の近くに池内嘉左衛門という、このへんの土地をおさめる地頭がおつた。

さてある年の秋、お寺の坊さんたちが嘉左衛門にまねかれてお祭りをしておつたが、その中のひとりの順安を見て、嘉左衛門のひとり娘お雪が好きになつてしまつたそうな。

やがてお雪の恋わざらいのうわさは、土地の人びとのあいだにひろがり、順安は仲間の坊さんたちにねたまれて、だんだんと居ずらくなつておつた。そのうち、いさかいが大きくなつて、順安は六人を相手に斬りあいをし、みんな傷をおつて倒れてしまつた。虫の息の順安だけが近くの百姓に助けられ、命をとりとめたが、そのまま旅に出たそうな。

さて一方お雪は、順安が斬られて死んだときから、食事をとることも忘れ、やせおどろえてとうとう寝こんでしまつた。

そこでお母さんが、娘をすこしでもなぐさめてやろうと思うて、庭のすみへ椿の木を植えたと。

何年かたつてその椿の花が咲きそめたころ、お雪の病気も重くなり、あすもわからぬありさまじゃつた。そんなとき順安もお雪恋しさにたえかねて、ある夜こっそり影野へ帰ってきたそつな。

二人の姿は変わつてはおつたが、おたがいの心は変わつておらず、二人はたじしつかりと抱きおうたと。それからというもの、お雪の病気はうす紙をはぐようによくなつたので、順安も坊さんをやめてお雪と結婚し、二代目池内嘉左衛門を名のり、それから幸せな一生を送つたということじや。今ではあの椿の木もずいぶんと大きくなつて、毎年きれいな花を咲かせているそつな。

四万十町

影野の案内場所



四万十町影野には実際に椿の木が植えられていたが、2021年に枯死し伐採。作品を長く記憶してほしいと、枝の一部が県内作家の元へ渡り、作品として残そうと修復中だ。訪れる観光客の休憩所とともに今もなお親しまれている。

出典 母から子に伝える土佐の民話2

著者 市原麟一郎

天衣無縫に生きた土佐おどけ者の生き様に惹かれ「近代土佐における、おどけ者の探求」を行い、数々の民話を発行。そんな市原麟一郎氏が惹かれたおどけ者は「いごつそう」「とくれ」「ひょうげ」「そそくり」「かんりやく人」「のかな奴」「おつこうがり」「てんごのかあ」「ごくどうもん」など。

応募締切
令和4年6月20日



とさぶしからの贈り物

4



株式会社わらびの 土佐手拭い「ブルースター」

5名様

水色の花びらが星の形に見える「ブルースター」を柄にした、綿100%の日本手拭い。



5

金子生花店 「ドライ素材のアレンジメント」

3名様

プリザーブドフラワーや自然素材を使用した手のひらサイズの可愛いアレンジメント。水やりなどの必要なく、飾つておくだけでその場が華やかに。

土佐花き園芸市場
フラワー＆グリーンギフトカード
(2000円分)

2名様

FTA(土佐花商組合)マークのお店で使えるギフトカード。高知の花を誰かに贈つたり、自宅に飾つてみたり。ぜひ利用してみて。



1

ff.mellow 季節のナチュラルリース 1名様

季節の花を生かし、色の移ろいや香りの変化を感じられるリース。日々の暮らしに癒しを演出し、おうち時間が素敵なひととき。



2

WASHI ORIORI 野鳥の和紙はがき 3名様



温かみある土佐和紙に描かれた、愛らしい野鳥。ショウビタキ、メジロ、スズメの3種類を、それぞれ1名様に。

お待ちしております。
たくさん応募



クイズとアンケートに答えて読者プレゼントに応募しよう！

クイズ 高知県嶺北地域でのみ栽培されている花は？

- ①スマホから左のQRコードを読み込んでwebサイトにアクセス
- ②応募フォームより、必要事項を明記し、読者プレゼントに応募する

*読者プレゼントの応募は「とさぶしwebサイト」もしくは、官製ハガキから応募できます。官製ハガキで応募される場合はお名前・発送先のご住所・お電話番号・ご希望のプレゼント番号・クイズの解答・とさぶしを読んでのご意見やご感想、今後見てみたい特集テーマをご記入の上、下記の宛先まで締切日（令和4年6月20日）必着でお送りください。 〒781-0081 高知市北川添10-15 株式会社ほっとこうち



とさぶし

A BRAND NEW CHAPTER KOCHI
TOSABUSHI

<https://tosabushi.com>

Web
リニューアル!
見てちゃ!



facebookもやってます!

<https://www.facebook.com/tosabushi>

発行

高知県文化生活スポーツ部文化振興課
(4月から文化国際課になります)

〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2番20号(本庁舎5階)

Tel 088-823-9793 Fax 088-823-9296

E-mail 140201@ken.pref.kochi.lg.jp

発行日:令和4年3月30日(季刊)

企画 とさぶし編集委員会

制作 ほっとこうち

パックナンバーの入手方法

お近くに配布先がない場合は、送付を希望されるパックナンバーの号数と部数、送付先、
氏名、連絡先(電話番号)をご記入のうえ、送料分の切手をお送りください。受取次第、発送をいたします。
※連絡先は、パックナンバーの在庫がない場合や切手の過不足があった場合などに使用します。

【送料】

1冊	140円
2冊	180円
3冊	215円
4・5冊	310円

6冊以上の場合は、一度ご連絡ください。

お問い合わせ・送付先は、

高知県文化生活スポーツ部文化振興課(上記)まで。



このパンフレットは宝くじの収益金の一部で
作成しています。

特集

P02

あなたの暮らしに 高知の花を

P04

ハレの日を彩る高知の花

P06

マイスターに聞く 世界も認める高知の花の底力

P08

多様なシーンで花開く

P10

高知で花咲く名花

P13

高知に輝く育種のあしあと

連載

P14

土佐おたからレシピ【あたらしや】

P16

土佐の技 温故知新【花雑貨】

P18

自然博物ミステリーハンター【大蛇藤】

P20

プライムトーク【竹山美紀さん】

P22

昔々にあったとさ♪【お雪椿】

P23

とさぶしからの贈り物

次号予告

「高知のまんが文化」

令和4年6月30日発行予定です。

お楽しみに!

※内容は変更になる可能性がございます。予めご了承ください。